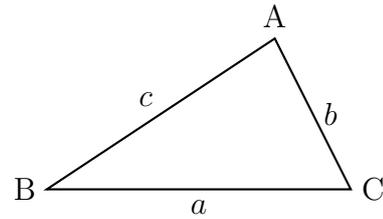




余弦定理

$\triangle ABC$ に対して、頂点 A, B, C の対辺の長さをそれぞれ、 a, b, c とし、 $\angle A, \angle B, \angle C$ の大きさを、それぞれ、 A, B, C とする。この時、次が成り立つ。



余弦定理

$$\bullet a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A \quad \bullet b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B \quad \bullet c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C$$

$$\cos A = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$$

$$\cos B = \frac{c^2 + a^2 - b^2}{2ca}$$

$$\cos C = \frac{a^2 + b^2 - c^2}{2ab}$$

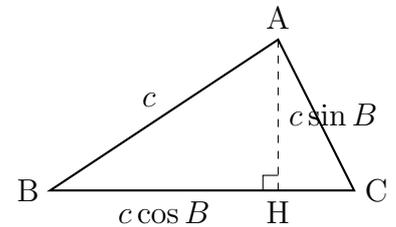
証明. 記号の付け方を変えればどの場合も同じなので、 $b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B$ を示す。

1. $B, C < 90^\circ$ のとき、

A から、線分 BC に垂線をおろし、その交点を H とすると、三角比の定義から、 $AH = c \sin B$, $BH = c \cos B$, $HC = BC - BH = a - c \cos B$ である。直角三角形 ACH に対して、三平方の定理を用いると、 $AC^2 = AH^2 + HC^2$ から、等式

$$b^2 = (c \sin B)^2 + (a - c \cos B)^2$$

を得る。これを解けば、求める等式を得る。

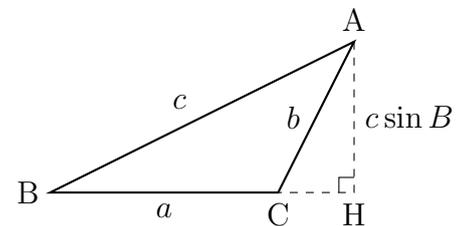


2. $B < 90^\circ, 90^\circ < C < 180^\circ$ のとき、

A から、線分 BC を C 側に延長した直線に垂線をおろし、その交点を H とすると、三角比の定義から、 $AH = c \sin B$, $BH = c \cos B$, $CH = BH - BC = c \cos B - a$ である。直角三角形 ACH に対して、三平方の定理を用いると、 $AC^2 = AH^2 + CH^2$ から、等式

$$b^2 = (c \sin B)^2 + (c \cos B - a)^2$$

を得る。これを解けば、求める等式を得る。

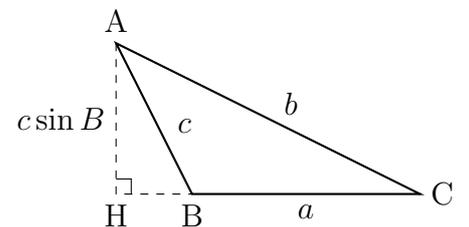


3. $90^\circ < B < 180^\circ, C < 90^\circ$ のとき、

A から、線分 BC を B 側に延長した直線に垂線をおろし、その交点を H とすると、三角比の定義から、 $AH = c \sin \angle ABH = c \sin(180^\circ - B) = c \sin B$, $HB = c \cos \angle ABH = c \cos(180^\circ - B) = -c \cos B$, $HC = HB + BC = -c \cos B + a$ である。直角三角形 ACH に対して、三平方の定理を用いると、 $AC^2 = AH^2 + HC^2$ から、等式

$$b^2 = (c \sin B)^2 + (-c \cos B + a)^2$$

を得る。これを解けば、求める等式を得る。



4. $B < 90^\circ, C = 90^\circ$ のとき、 $\triangle ABC$ は直角三角形である。三角比の定義から、 $\cos B = \frac{a}{c}$ なので、 $b^2 = c^2 - a^2$ が成り立つことを示せばよいが、これは三平方の定理より明らか。

5. $B = 90^\circ, C < 90^\circ$ のとき、 $\cos B = \cos 90^\circ = 0$ である。よって、 $b^2 = c^2 - a^2$ が成り立つことを示せばよいが、これは三平方の定理より明らかである。

□